

令和2年5月21日


学校法人仁多学園

理事長 勝田 康 則 様

学校法人仁多学園監事

谷 尻 一 徳 

学校法人仁多学園監事

内 田 正 男 

令和元年度学校法人仁多学園決算監査報告書

学校法人仁多学園寄附行為第15条第1項第4号の規定により、令和元年度学校法人仁多学園の業務並びに財産の状況について、監査を終了したので、その結果について下記のとおり報告します。

記

監査の概要

- (1) 監査の期日 令和2年5月21日
- (2) 監査の場所 島根リハビリテーション学院
- (3) 監査の手続

本監査は理事長から提出された令和元年度学校法人仁多学園資金収支計算書を始めとする財務諸表並びに事業報告書等に表示された計数が、財務内容及び経営の成果を的確に把握処理されているか、また、諸法規、寄附行為に照らし、合法的且つ適正に業務が遂行されているかを確認するため、会計諸帳票、預金通帳等、証拠書類との照合等を行い、実施状況を検証した。

監査の結果

- (1) 決算諸表について

監査に付された決算諸表は、事業の財務状況及び経営の成績が適正に表示されており、その計数は正確に処理されていると認めた。

(2) 経営の状況について

◎ 入学生の動向

令和元年度の入学者数は理学療法学科33名、作業療法学科30名、計63名で前年度を14名、入学定員を3名上回った。在籍学生数は187名となり前年度と比較して30名増加した。

◎ 収支の状況

事業活動収入合計は2億5,093万3千円（対前年比98.8%）、事業活動支出合計は2億5,702万9千円（同74.9%）で、基本金繰入前当年度収支差額は△609万6千円（同6.8%）であった。

基本金組入額は1号基本金で3,364万4千円である。なお、基本金取崩額は345万2千円で、内訳は1号基本金5万2千円（備品の廃棄）、4号基本金340万円である。

(3) 個別事項

- ① 預金については、取引金融機関の令和2年3月31日現在の残高証明書により確認した。
- ② 固定資産については、固定資産一覧表（減価償却明細書）により数量を確認し、減価償却は適正に処理されていると認めた。
- ③ 学生募集活動状況は令和元年度重点目標達成状況報告書等で確認した。

(4) 総括

平成29年度より学生募集を最重要課題として位置づけ、教職員一丸となって取り組み、本学院の魅力のアピール、広報媒体の見直し等の新規対策を実施され、令和元年度の入学生は63名（理学療法学科33名、作業療法学科30名）と平成23年度以来の定員充足となった。学生募集の成果に対し敬意を表し、継続した取り組みを期待するとともに、本学院の一層の魅力化に努められたい。

また、令和元年度の国家試験の合格率について、理学療法学科は100%であったが、作業療法学科は75%と残念な結果となった。合格率100%を目指し、引き続き教員各位の熱意ある指導と努力を期待したい。

以上、監査報告とする。